



平成27年度 公募助成事業決定

アーツサポート関西

26件の事業に総額975万円を助成
申請195件、ASKへの期待集まる

アーツサポート関西(ASK)は、市民が力を合わせて芸術・文化に寄り添い、育てていく取り組みとして、昨年4月に設立されました。財布の紐が固いといわれる関西で、はたして寄付は集まるのかと不安含みのスタートでしたが、1年間に集まった寄付は4000万円を超えました(昨年5月8日のチャリティ・ファンディング・パーティーの収益金など2400万円を含む)。予想を大きく上回る寄付額に、芸術・文化支援に対する人々の意識の高さや、関西の文化力向上への期待の大きさが伺えました。この寄付のなかには、特定型個別寄金*として設けられた「京阪神ビルディング文楽支援基金」や「寺田千代乃上方落語若手噺家支援寄金」なども含まれ、平成26年度は、その中から文楽や上方落語などの振興に総額600万円が充てられました。

また、昨年10~12月にかけて平成27年度の助成事業を公募したところ、1000万円の助成予算に対し、総額1億8000万円を超える195件もの助成申請がありました(一般

申請:指定のない寄付を原資とするもの)。アーティストからASKに寄せられる期待の大きさも、予想を大きく上回るものでした。このなかから専門家による評価・審査を経て26件・総額975万円の助成先が決定し、4月から順次助成金が交付されます。

助成申請は大阪・関西を中心に東京や海外からもあり、ASKに対する注目と期待が広く浸透していることが伺えます。今回選出された助成先のジャンルは、演劇、ダンス、音楽、美術、伝統芸能などと幅広く、大きな劇団の活動から学生の演劇祭、若手アーティストの海外公演、市民合唱団の練習場支援など、活動内容も多岐にわたりました。

*特定型個別寄金

寄付者が好きな名称を冠した個別寄金を作り、特定の団体を指定して助成支援を行なうもの。助成先についてはASK評価・審査委員会およびASK運営委員会が適否審査を行い、関西・大阪21世紀協会の理事会の承認を経て決定される。

採択事業紹介(一例)

事業名: **釜ヶ崎大学2015 in 西成高校・鶴見橋中学校**

事業者: 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋

実施日: 平成27年4月~平成28年3月
(西成市民館、西成高校、鶴見橋中学校など)

助成額: 60万円

釜ヶ崎と呼ばれる地域を会場として、書道、芸術、詩などのワークショップを実施。講師と受講者が互いに学ぶ喜びを知り、生きる力を見いだす。さらに、地域で暮らす若者たちに生き方を考えるための働きかけを行うなど、教育と地域性を活かしたアートの先駆的で創造的な活動を行う。



(撮影: 仲川あい)

事業名: **Dance Company BABY-Q 新作公演&インスタレーション**

事業者: Dance Company BABY-Q

実施日: 平成27年6月15~27日(元・立誠小学校[京都市])

助成額: 70万円

カンパニー設立から15年、国内外で豊富な公演実績を重ね、今年再び関西に戻って新作を発表。オルタナティブ/サブカルチャーシーンから舞台芸術へと活動の場を広げてきたBABY-Qの前向きなメッセージを伝え、関西のダンスシーンの活性化と新たな観客の開拓をめざす。



(撮影: 井上嘉和)

事業名：下鴨車窓 #12 アジアツアー「漂着 island」

事業者：田辺剛(劇作家・演出家「下鴨車窓」主宰)

実施日：平成27年6月(京都、香港、マカオ)、7月(大阪)、8月(三重・東京)

助成額：50万円

香港とマカオの公演は、香港の演劇フェスティバルからの招聘。国内外での創作活動を方針とする「下鴨車窓」では、この機会を活かして「アジアツアー」と銘打ち、海外にはあまり知られていない「関西の現代演劇」の存在を示すと共に、関西と香港、マカオの文化交流の促進をめざす。



(撮影：築地静香)

平成27年度 アーツサポート関西 助成先

一般申請 (交付額順)

分野	申請者	活動名 (活動期間)	交付額 (万円)
演劇	維新派	神々の戯れ (仮) (7/18~28)	100
音楽	一般財団法人住友生命福祉文化財団	新・音楽の未来への旅シリーズ はずみシンフォニッタ大阪 第35回定期演奏会 (7/18)	80
複合	プレーカープロジェクト実行委員会	地域に根差した創造活動拠点の実験 2014-2015 (5/1~H28年3/31)	80
ダンス	Dance Company BABY-Q	Dance Company BABY-Q 新作公演 & インスタレーション (会場：京都市 元・立誠小学校講堂) (6/15~27)	70
複合	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋	釜ヶ崎大学 2015 in 西成高校・鶴見橋中学校 (4月~H28年3月)	60
映像・映画	タチヨナ・プロジェクト	Kansai 近所映画クラブ (会場：府立江之子島文化芸術創造センター、淡路島アートセンター他) (5月~8月)	55
伝統芸能	あべのハルカス歌舞伎実行委員会 (仮称)	あべのハルカス歌舞伎 (仮称) (会場：近鉄アート館) (7/31~8/2)	50
演劇	田辺 剛 (下鴨車窓)	下鴨車窓 #12 アジアツアー「漂着 island」 (6月(京都、香港、マカオ)、7月(大阪)、8月(三重・東京))	50
美術デザイン	KUNSTARZT	ディズニー美術 (4/28~5/10)	40
ダンス	曾根 知	日本・イスラエル国際プロジェクト (会場：京都芸術センター) (8/3~9)	40
美術デザイン	東山アーティストプラットフォームサービス実行委員会	HONESTY AND MODESTY 2 まちにアーティストが「住む」ことを考える (8/28~9/6)	40
ダンス	Dance Fanfare Kyoto 実行委員会	Dance Fanfare Kyoto 03 (会場：京都市 元・立誠小学校他) (5/25~31)	30
演劇	劇団 五期会	劇団五期会第69回公演「タイトルロールの男たち」(仮) (12/27~29)	30

一般申請 (交付額順)

分野	申請者	活動名 (活動期間)	交付額 (万円)
演劇	工藤俊介プロデュースプロジェクト KUTO-10	工藤俊介プロデュース プロジェクト KUTO-10 第15回公演「骨から星へ」(H28年3/17-20(大阪) H28年3/24-27(東京))	30
ダンス	京極 朋彦	京極朋彦ダンス企画「talking about it」(ウィーンレジデンス公演) (8/3~19 11/9~30)	30
ダンス	MuDA (むーだ)	MuDA ブルガリア~インドネシアツアー 2015 (8月末~9月上旬)	30
演劇	大阪短編学生演劇祭実行委員会	第2回大阪短編学生演劇祭 (9/12~13)	20
音楽	ながらの座・座	場所との対話「今の音楽・居間の音楽II」(10/26~11/1)	20
伝統芸能	釜ヶ崎狂言会実行委員会	釜ヶ崎狂言会 (会場：太子会館老人憩の家など) (4月~7月の隔週1日、8/3~8)	20
演劇	株式会社 INDEPENDENT	最強の一人芝居フェスティバル「INDEPENDENT: 15」(11/26~29)	20
音楽	全国学生演劇祭実行委員会	全国学生演劇祭 2016 (H28年2/24~2/28)	20
音楽	羽曳野少年少女合唱団	定期練習の場所の使用料 (通年)	16
演劇	Communication complex	Sleeper Hallucination Camping (8/29)	14

個別基金申請

寄金名	事業者/活動名 (活動期間)	交付額 (万円)
匿名寄金 NO.2 (指定分野なし)	ユリイカ百貨店/Dramatic MEOTO Reading (11/22)	10
カナオカ寄金 (指定分野なし)	新長田アート commons 実行委員会/下町芸術祭~長田アート commons~「待ったいたるわ、いっぺんやってみい」(10/31~11/13)	10
アイドマ寄金 (指定分野：美術・デザイン)	「ERROR」展実行委員会/安東睦郎・黒木結「ERROR」展 (仮) (9/12~9/27)	10

特定型個別基金 (申込順)

寄付者	寄金名称	助成対象活動	寄付額・助成額 (万円)	指定の助成先
京阪神ビルディング株式会社	京阪神ビルディング文楽支援寄金	そうだ! 文楽に行こう *ワンコインで文楽。2015	250 (H27年度助成額)	特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座
匿名	匿名寄金 (No.3)	①第263回定期演奏会 ②大阪市公会堂特別演奏会 ③児童養護施設「希望館」との交流事業	300 (H26年度助成)	特定非営利活動法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
香川芳江	日本舞踊普及支援寄金	花柳流 波吟の会「ゆかた会」	100	花柳流 波吟の会
興口 修	興口寄金	国内外のアートフェアへの参加事業	5	社会福祉法人 素王会 アトリエ・インカーブ
寺田千代乃	寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金	上方落語若手噺家グランプリ	500 (寄付額) 50、50 (H26、H27年度助成額)	公益社団法人 上方落語協会
一般社団法人 大阪青年会議所	大阪青年会議所文化支援寄金	阪南市の市立小学校の合同演奏会	31	一般社団法人 大阪市音楽団

特定型個別寄金



若手噺家の育成を支援

「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」

アートコーポレーション株式会社の寺田千代乃社長から、アーツサポート関西へ500万円の寄付があり、特定型個別寄金「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」が設けられた。この寄金による助成で、「上方落語若手噺家グランプリ」が開催される。

上方落語の伝統継承と若手噺家の育成を目的とした同グランプリは、天満天神繁昌亭(大阪北区)を会場に、入門6~15年の若手噺家31名を対象に開催。予選は主に上方落語協会の風紀委員会(桂春若委員長)が審査し、本選では在阪テレビ局のプロデューサーらが審査員となり、優秀者には賞金が贈呈される。

今年2月24日、天満天神繁昌亭で記者発表が行われ、寺田社長から上方落語協会の桂文枝会長に目録が手渡された。寺田社長は、「財界活動に参加するなかで、大阪の文化の重要性を認識、日本の伝統文化であり大阪の貴重なブランド資源である上方落語を支援しようとASKを通じての寄付を思い立った」と思いを述べ、桂文枝氏は、「このグランプリをきっかけに、若手噺家のテレビやラジオに出る機会が、もっと増えて欲しい」と、次代のスター作りに期待を寄せた。上方落語若手噺家グランプリは4月7、14、16、22日に予選、6月23日に本選が行われる。



寺田千代乃氏(右)と桂文枝氏(左)



天満天神繁昌亭

京阪神ビルディング文楽支援基金

2年目を迎えた「そうだ! 文楽に行こう」

アーツサポート関西の支援第一号となった「京阪神ビルディング文楽支援寄金(500万円)」が今年度2年目を迎え、若者を国立文楽劇場の文楽公演に招待する活動「そうだ! 文楽に行こう」を引き続き助成することとなった。

この活動は、これまでNPO法人人形浄瑠璃文楽座が文楽の鑑賞歴が浅い初心者を対象に開催してきた解説付きの観劇会で、寄金はその「学生版」への助成。関西圏の大学生や専門学校生を対象に、日本の伝統文化に触れることで自己啓発を促し、その魅力を自分の言葉で内外に発信できるグローバルな人材育成を期待している。参加費が一人500円と安いことから「ワンコイン文楽」とも呼ばれ、昨年度は定員を上回る520名の学生が参加し好評を博した。

今年度は2015年7月から2016年1月の公演中での開催を予定。定員は420名で、各校に募集要項が配布される。

京阪神ビルディング株式会社(大阪市中央区・中野健二郎社長)は、同寄金の設立を機に従業員にも文楽鑑賞を推奨するなど、地域に根ざした企業として大阪発祥の伝統文化の継承・発展に力を入れている。



(写真提供: NPO法人人形浄瑠璃文楽座)

助成に関する受付・お問合せ

アートサポート関西 事務局
公益財団法人 関西・大阪21世紀協会内

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル29階

TEL 06-7507-2004 FAX 06-7507-5945

Email ask@osaka21.or.jp